

令和元年 7月 1日

九州地方整備局 八代河川国道事務所

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域の浸水区域の変更について

国土交通省九州地方整備局が平成29年3月29日に定め、公表している球磨川水系球磨川の洪水浸水想定区域図について、水防法第14条第4項に基づき、洪水浸水想定区域を変更・公表すると共に、関係市町村へ通知します。

洪水浸水想定区域とは水防法第14条第1項の規定により、対象となる河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。

洪水浸水想定区域の指定の変更に係る公表資料は、下記の場所及び八代河川国道事務所のホームページで閲覧することができます。

1. 洪水浸水想定区域の指定の変更に係る公表資料(別紙)
 - ・球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)
 - ・球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)
 - ・球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(計画規模)今回の変更箇所は熊本県人吉市七地町地先のみです。

2. 閲覧場所

国土交通省 九州地方整備局 河川部 水災害予報センター

所在地:福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番7号

電話:092-707-0110

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 調査課

所在地:熊本県八代市萩原町1丁目708-2

電話:0965-32-7551

3. 球磨川水系の洪水浸水想定区域図については、こちらに掲載しています。

URL: http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/bousai/kuma_shinsui.html

(問い合わせ先)

国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所

電話 0965-32-4135(代表)(平日昼間)

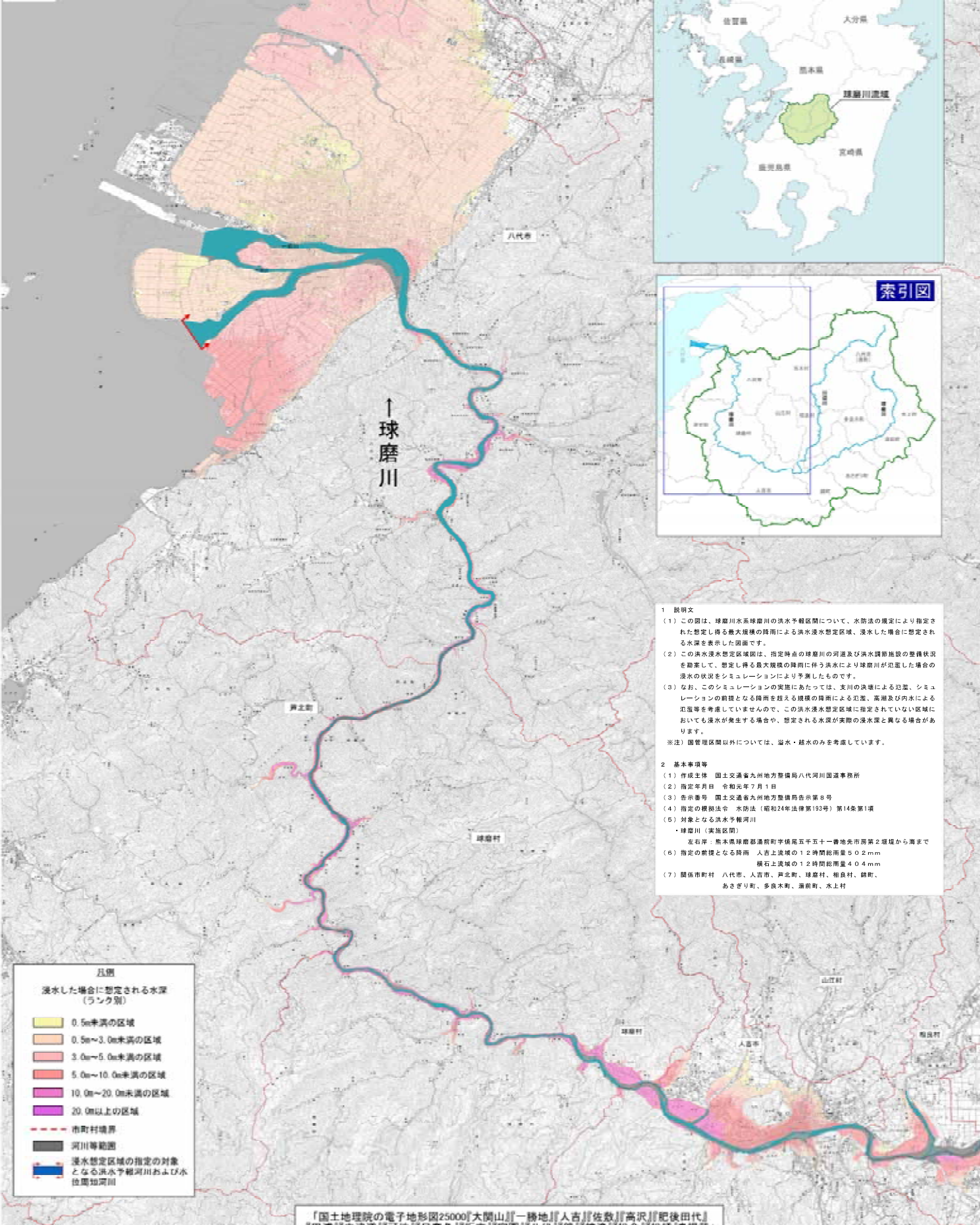
副所長 森 康成(もり やすなり)

電話 0965-32-7551(調査課直通)(平日昼間)

調査課長 山口 広喜(やまぐち ひろき)

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

下流部



- 1 説明文
- (1) この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区域について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定地点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前報となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ※注) 国管理区域以外については、溢水・越水のみを考慮しています。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
 - (2) 指定年月日 令和元年7月1日
 - (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第8号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - (5) 対象となる洪水予報河川・球磨川(実施区域)
 - 左右岸：熊本県球磨郡湯前町字橋長五千五十一番地先市房第2壇堤から海まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 右岸上流域の1.2時間総雨量5.02mm
横石上流域の1.2時間総雨量4.04mm
 - (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、隼町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	5.0m～10.0m未満の区域
	10.0m～20.0m未満の区域
	20.0m以上の区域
	市町村境界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位通知河川

「国土地理院の電子地形図25000『大関山』『一勝地』『人吉』『佐敷』『高沢』『肥後田代』『田浦』『中津道』『埴地』『日奈久』『坂本』『宮園』『八代』『鏡』『梓迫』『松合』『松橋』『湯前』」

1:45000(A0)

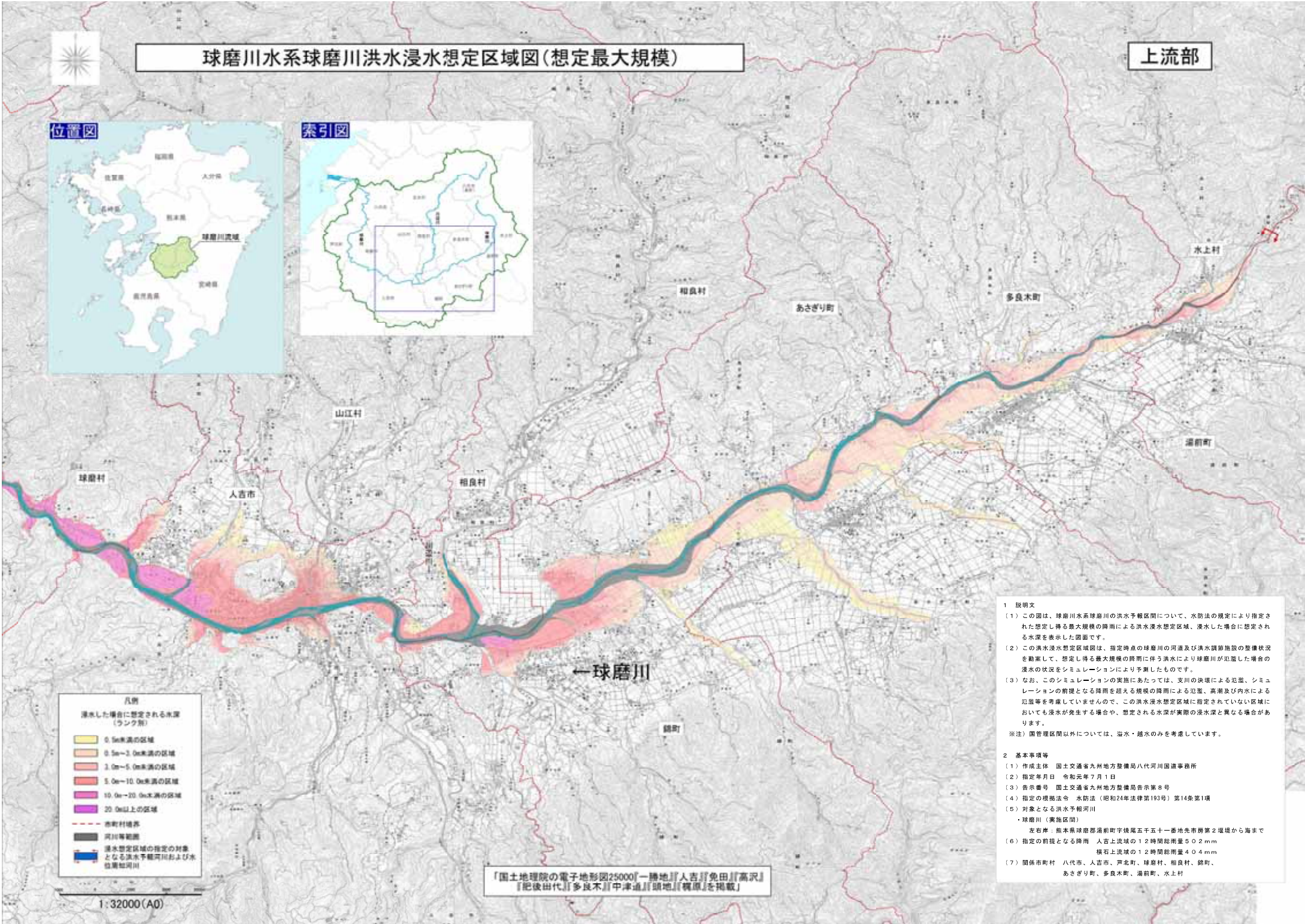
球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

上流部

位置図



索引図



凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町村境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水下轄河川および水位階加川

- 1 説明文
- (1) この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ※注) 国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
 - (2) 指定年月日 令和元年7月1日
 - (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第8号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - (5) 対象となる洪水予報河川
 - ・球磨川(実施区間)
 左右岸: 熊本県球磨郡湯前町字猪馬五千五十一番地先市房第2堤堰から海まで
 - (6) 指定の前提となる降雨 人吉上流域の12時間総雨量50.2mm
 鍋石上流域の12時間総雨量40.4mm
 - (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、鍋町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

「国土地理院の電子地形図25000『一勝地』『人吉』『免田』『高沢』『肥後田代』『多良木』『中津道』『鍋石』『鶴原』を掲載」

1:32000(A0)

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

下流部



- 1 説明文
- この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - この浸水継続時間は、公表時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実態にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- ※注) 国管理区間以外については、治水・越水のみを考慮しています。
- 2 基本事項等
- 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
 - 公表年月日 令和元年7月1日
 - 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第8号
 - 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - 対象となる洪水予報河川
 - ・球磨川(実地区間)
 - 左右岸: 熊本県球磨郡湯前町宇後尾五千五十一番地先市第2種地区から瀨まで
 - 算出の前提となる降雨 入吉上流域の1.2時間総雨量50.2mm
横石上流域の1.2時間総雨量40.4mm
 - 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、鏡町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

「国土地理院の電子地形図25000『大関山』『勝地』『人吉』『佐敷』『高沢』『肥後田代』『田浦』『中津道』『頃地』『日奈久』『坂本』『宮園』『八代』『鏡』『柿迫』『松合』『松橋』『湯前』」

1:45000(A0)

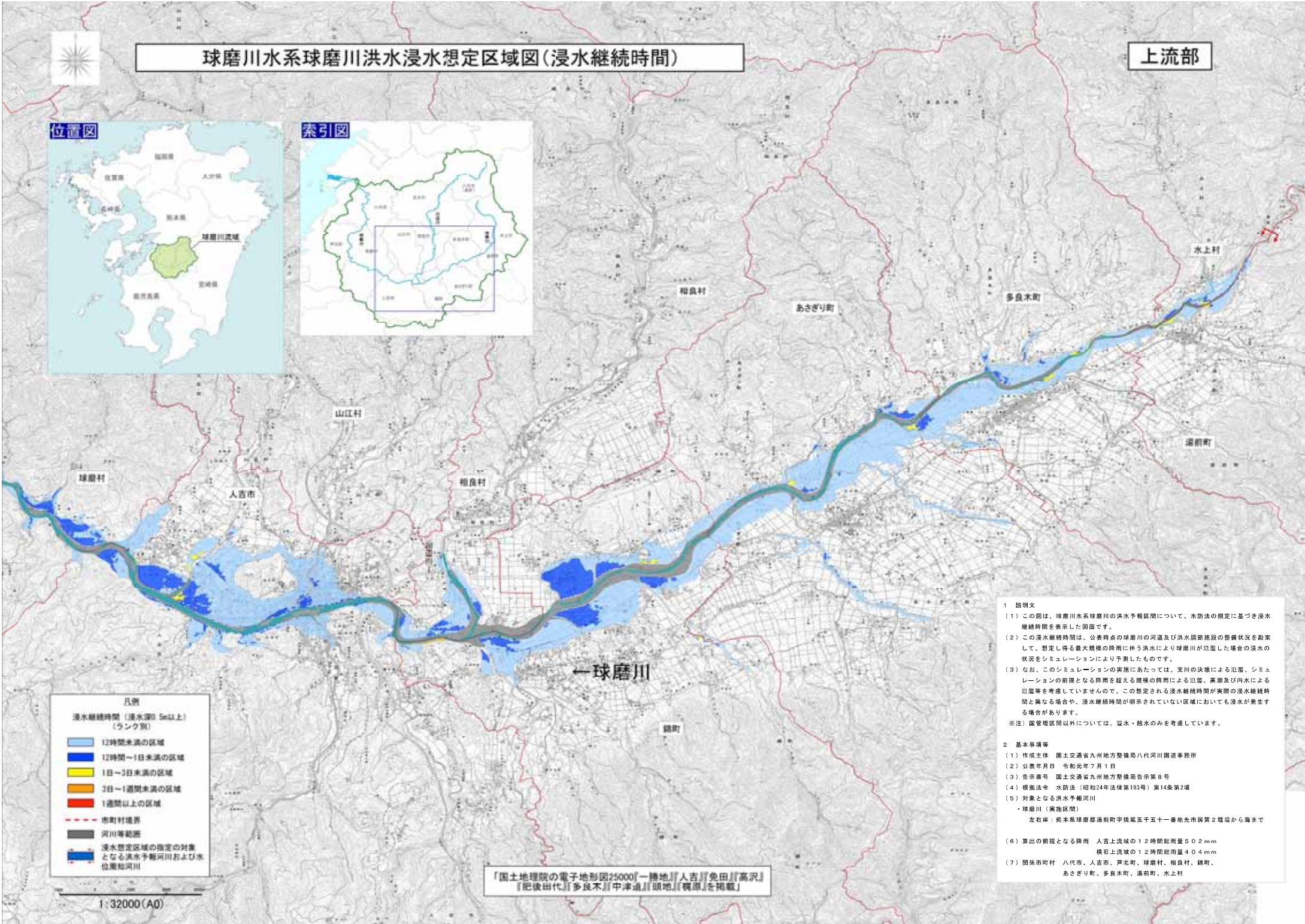
球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

上流部

位置図



索引図



凡例

浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
(ランク別)

12時間未満の区域
12時間～1日未満の区域
1日～3日未満の区域
3日～1週間未満の区域
1週間以上の区域
市町村境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位観測河川

「国土地理院の電子地形図25000『一勝地』『人吉』『免田』『高沢』『肥後田代』『多良木』『中津道』『頭地』『鶴原』を掲載」

- 1 説明文
- (1) この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、公表時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- ※注) 国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
 - (2) 公表年月日 令和元年7月1日
 - (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第8号
 - (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - (5) 対象となる洪水予報河川
 - ・球磨川(実施区間)
 - 左右岸: 熊本県球磨郡湯前町字鏡馬五千五十一番地先市房第2層堤から海まで
 - (6) 算出の前提となる降雨 人吉上流域の12時間総雨量50.2mm
横石上流域の12時間総雨量40.4mm
 - (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、鏡町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

1:32000(A0)

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(計画規模)

下流部

位置図



索引図



↑球磨川

1 説明文

- (1) この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる人吉上流域の年超過確率1/80（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/80（1.3%））及び横石上流域の年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前報となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※注）国管理区域以外については、溢水・越水のみを考慮しています。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
- (2) 公表年月日 令和元年7月1日
- (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第9号
- (4) 根拠法令 水防法（昭和24年法律第103号）第14条第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川
 - ・球磨川（実施区域）
 - ・左岸：熊本県球磨郡湯前町字俵間五十五十一番地先市房第2号堤から海まで
- (6) 算出の前報となる降雨 人吉上流域の1.2時間降雨量262mm
横石上流域の1.2時間降雨量261mm
- (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、鏡町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m～3.0m未満の区域
3.0m～5.0m未満の区域
5.0m～10.0m未満の区域
10.0m～20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町村境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位通知河川

「国土地理院の電子地形図25000『大関山』『一勝地』『人吉』『佐敷』『高沢』『肥後田代』『田浦』『中津道』『埴地』『日奈久』『坂本』『宮園』『八代』『鏡』『梓迫』『松合』『松橋』『湯前』」

1:45000(A0)

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域図(計画規模)

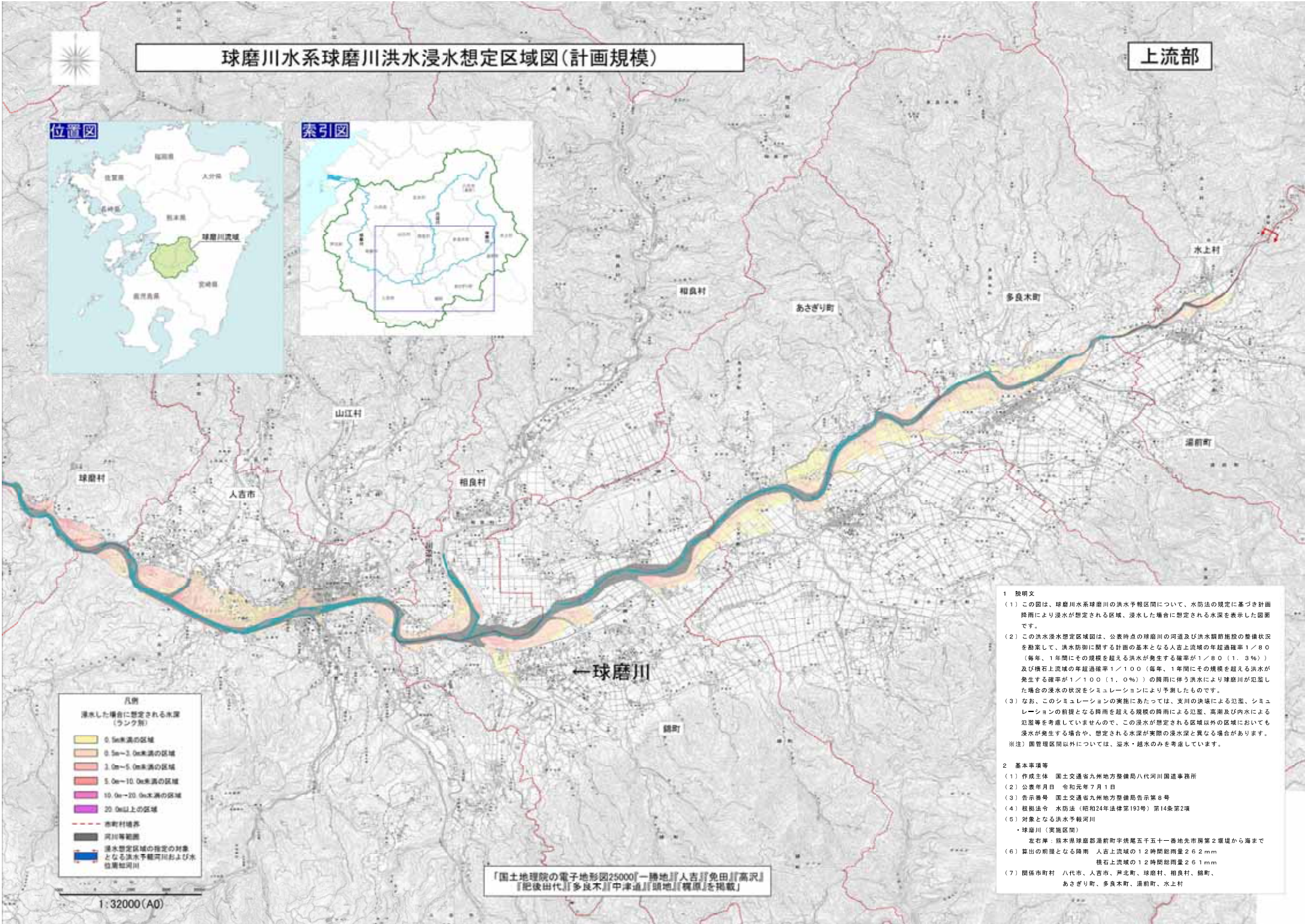
上流部



位置図



索引図



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域
市町村境界
河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水下流河川および水位階加河川

1:32000(A0)

「国土地理院の電子地形図25000『一勝地』『人吉』『免田』『高沢』『肥後田代』『多良木』『中津道』『頭地』『鶴原』を掲載」

- 1 説明文
- (1) この図は、球磨川水系球磨川の洪水予報区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の球磨川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防除に関する計画の基本となる人吉上流域の年超過確率1/80(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/80(1.3%))及び横石上流域の年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1.0%))の降雨に伴う洪水により球磨川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- ※注) 開管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所
 - (2) 公表年月日 令和元年7月1日
 - (3) 告示番号 国土交通省九州地方整備局告示第8号
 - (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 - (5) 対象となる洪水予報河川
 - ・球磨川(実施区間)
 - 左右岸:熊本県球磨郡湯前町宇佐尾五千五十一番地先市第2号堤から海まで
 - (6) 算出の前提となる降雨 人吉上流域の1.2時間総雨量26.2mm
横石上流域の1.2時間総雨量26.1mm
 - (7) 関係市町村 八代市、人吉市、芦北町、球磨村、相良村、湯前町、鍋町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

球磨川水系球磨川洪水浸水想定区域を変更した箇所 位置図(拡大図)

